

今こそ停戦を！ 今こそ交渉を！ 今こそ中東和平を！

私たちは、現在の事態を心より憂慮し、今こそ停戦を、今こそ交渉を、今こそ中東和平を、念願するものであります。

ご承知のように、イスラエルとイスラム組織ハマスによる戦闘が日増しに激しさを増し、すでに双方に多くの犠牲者が出ています。特にガザ地区においては子ども200人を含め民間人の死者が1000人を超え、イスラエル国内でも多数の死傷者を出すなど憂慮すべき事態に立ち至りました。国連をはじめ諸国が即時停戦を求め仲介しようとしています。いまだ解決の糸口が見えません。

私たちはイスラエルとパレスチナの双方から親族を紛争で亡くした子どもたちを日本に招き、相互の信頼醸成を構築することが必ず和平につながるの思いから、2003年の綾部市をはじめ全国の諸都市での中東和平プロジェクトを支援してまいりました。来日した子どもたちはその都度、小泉総理、麻生総理と面談し、去年は安倍総理と面会し激励を受けました。双方の子どもたち（述べ74人）が日本における友情と交流が彼の地に戻ってからも続きますように、と涙を浮かべて語っていた姿を思い出しております。今回のガザ地区とイスラエルへの戦闘は、当事者はもとより全世界の人々の和平への期待と努力を踏みにじるものであり、人道上許されない暴挙であります。

我が国は従来、イスラエル・パレスチナ双方から信頼を得ている数少ない国の一つであります。また、世界唯一の被爆国であり、平和憲法のもと一貫して武力に依る紛争の解決を否定してまいりました。

日本政府におかれましては、今こそ、イスラエル・ハマス双方に対しガザ地区とイスラエルへの戦闘行為の即時停戦を求められるとともに、人道的見地から、一歩踏み込んだ停戦・対話と和平交渉の再開に向けて積極的役割を果たされるよう強く要請いたします。

内閣総理大臣 安倍晋三様  
外務大臣 岸田文雄様

平成26年7月30日

稲葉孝彦（小金井市長）  
上田正昭（京都大学名誉教授）  
大森雅夫（岡山市長）  
門川大作（京都市長）  
組坂繁之（部落解放同盟中央本部執行委員長）  
栗山正隆（亀岡市長）  
黒住宗晴（黒住教教主）  
四方八洲男（前綾部市長）  
田中恆清（石清水八幡宮宮司）  
出口紅（大本教主）  
中山泰（京丹後市長）  
原秀樹（徳島市長）  
森清範（清水寺貫主）  
森田嘉一（京都府ユネスコ協会連盟会長）  
山折哲雄（宗教学者）  
山崎善也（綾部市長）  
山田啓二（京都府知事）  
山野之義（金沢市長）  
湯川春洋（近世文学研究者）

—五十音順—